

# 北國新聞

2019年(令和元年)  
11月3日(日)

旭日双光章  
やました かずひろ  
山下 和廣氏  
元県剣道連盟会長



## 「生涯剣道」胸に継承

県連盟の役員として約30年にわたり剣道の振興に身をささげた。昨年は最高段位である八段の審査に、県連盟から都道府県別で最多の3人が合格するという快挙を達成できた。長年の尽力が実を結んだと実感している。

現在は相談役を務め、ジュニア世代と指導者の育成に力を入れている。「『生涯剣道』を胸に、次代への継承に努めたい」とさらなる意欲を見せる。2012年に北國生きがいスポーツ賞を受賞。74歳。川北町土室16の2。

## 秋の叙勲



旭日双光章 山下 和廣さん(74)川北町  
剣道の最高段位八段の所有者で、県内最年長剣士。現役時代は一九九一年の石川県体成年男子一部で副将を務め、優勝に貢献した。現役引退後は後進育成に努め才能を開花させてきた。

## 生涯剣道 高段者を育成

県剣道連盟の強化委員長や会長を歴任。ジュニア選手と指導者のレベルアップを図り、二〇一四年の全国スポーツ少年団剣道交流大会では団体で県勢を優勝に導いた。高段者の育成にも注力し、昨年は合格率1%を切る八段所有者を新たに三人誕生させた。「目標は『生涯剣道』。体が動く限り剣道の伝承と振興に力を入れたい」。力強く語る。

